

## 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況①

団体名	特定非営利活動法人 ジョイライフさやま	実施日	毎月第2日曜日、2020年5月13・14日、 9月13日、2021年1月16・17・18日
代表者	久保田 慎三郎	活動場所	狭山市（入間川）
タイトル	環境の未来と夢・樹木整備と公園作り		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入間川河川敷で毎月整備活動を実施し、環境体験学習事業を行うことで、多くの地域住民の参加を呼びかけ、地域の活性化や将来子供たちへ継承できる環境を保全すること。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風19号（2019年）等の豪雨による瓦礫や流木、不法投棄ごみの片付け。</li> <li>・活動拠点となる岸辺で伐採、下草刈り、刈り草処分。</li> <li>・カヤック乗りを子供たちに教えるための研修、試乗。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>瓦礫、流木の撤去</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>不法投棄家電等ごみの回収</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>草刈り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カヤック研修、試乗</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理量は流木3.5トン、鉄瓦礫類60kg、家電乾燥洗濯機、洗濯機、空気清浄機、テレビなど4点を廃棄処分した。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型家電の不法投棄が繰り返され市の対応もなく苦慮している。空き缶、ペットボトル等のごみ捨てをさせないように、立て看板などを制作して表示することを考えている。</li> </ul>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症による自粛・中止により活動が制限され、イベントが全て変更を余儀なくされた。講師謝礼の用途を変更した。</li> </ul>		
最終助成決定額	146,000円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況②

団体名	SUN JOY 南小畔川	実施日	2020年6月7日、6月17日、11月29日
代表者	宮坂 厚郎	活動場所	川越市笠幡（南小畔川）
タイトル	アレチウリ駆除と減災、海プラごみ阻止活動		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本本来の植物保護、水害対策、プラごみを海に流さない。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定外来種アレチウリが繁茂する前に駆除。</li> <li>・桑の木やノイバラにアレチウリが絡みつき、増水時期はゴミが溜まるので、流水を妨げないように処理。</li> <li>・河川際のプラごみを回収。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>特定外来種アレチウリの駆除</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>特定外来種アレチウリの駆除</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>桑の木等を処理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プラごみ回収</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田中橋～神明橋区間で、アレチウリが伸びて繁茂する前のタイミングを見計らいながら、暑さ対策として早朝に駆除を行った。効果がもう少し出るよう続けていきたい。</li> <li>・桑の木等の処理により流水がスムーズになったと地域の方から喜ばれている。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス予防対策により活動が制限されたが、状況を見て活動を増やしていきたい。</li> <li>・高齢化により真夏の活動に苦勞している。会員の募集を行い、若手の会員を増やしていきたい。</li> </ul>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で予定通りに活動できなかった。</li> </ul>		
最終助成決定額	23,095 円		

※活動完了報告書を元に作成

# 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況③

団体名	高麗川ふるさとの会	実施日	2020年5月下旬～2021年2月
代表者	三浦 輝夫	活動場所	坂戸市浅羽（高麗川／浅羽ビオトープ）
タイトル	清流高麗川プロジェクト		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高麗川の良好な水辺環境を将来の子孫に引き継いでいくために、市民が一体となり、行政との協働の中で、環境保全活動を推進していくこと。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈り払い機を使用した草刈り。</li> <li>・水路・散策路の清掃。</li> <li>・野鳥・植物の調査研究。</li> <li>・外来植物のシンジュ、アレチウリ、オオブタクサ、オオフサモの除去。</li> <li>・広報「こまがわニュース」（毎号200部、A3両面印刷）を年3回発行・発送。駐車場の掲示板にも活動予定日とともに掲示し、一般参加者を募集。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>草刈り作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>外来植物シンジュの幼木掘り取り</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ビオトープへの水の取入口の樋管の 落ち葉・泥の撤去</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>広報「こまがわニュース」</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場に設置の掲示板に活動予定日を掲示することで、今年度掲示板を見た新規加入者が2名あった。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19の影響で4月、5月の2か月間、活動の自粛を行ったため散策路の草が背丈ほどに伸び、散策に訪れる方の安全確保の難しさを痛感した。</li> <li>・自粛解除後、猛暑の中での作業については、作業参加者の高齢化に伴い、作業時間の短縮等、柔軟な対応の必要性を感じた。</li> </ul>		
最終助成決定額	142,000 円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況④

団体名	比企の川づくり協議会	実施日	2021年2月26日（金）
代表者	渡辺 仁	活動場所	東松山市（都幾川）
タイトル	都幾川自然公園散策路構想報告書作成事業		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹や藪が繁茂し、到る所が入れない荒地となっている都幾川に、環境に配慮した散策路を整備し環境保全を行うこと。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散策路を整備するにあたり、現状散策可能な場所と不可能な場所を確認し、今後の構想をまとめた。</li> <li>・多くの住民は都幾川に対する関心は高いが、堤外地に入ってまで散策する住民は少ない。その関心を高めるために、報告書を印刷した。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>蝶やトンボの良き観測地であったが、先のまるごと再生事業で周辺の樹木が伐採され、生態系が悪化してしまった。</p> <p>堤外地（高水敷）とは思えない自然あふれる景色。生物、生態系に最大に配慮した散策路を整備したい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>散策路もそれなりに整備されており、自然を満喫できる。</p> <p>都幾川自然公園散策路構想報告書</p>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構想報告書をまとめることで、都幾川散策マップの作製に向けた整理ができた。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後市民や近隣住民に川の良さを伝え、環境に配慮した散策路の整備が進行するよう努めていきたい。</li> </ul>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のためシンポジウムは中止とした。</li> </ul>		
最終助成決定額	34,670 円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑤

団体名	NPO 法人 かわごえ里山イニシアチブ	実施日	2020年5月3日、6月27日、8月1日、 11月28日、12月6日
代表者	増田純一	活動場所	川越市福田（入間川、小畔川、越辺川流域）
タイトル	生きもの育む田んぼプロジェクト2020		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と調和し人と生きものにやさしい田んぼ活動を行い、誰もが安心・安全に暮らせる人と自然と生きものが共生できる環境豊かな里山づくり。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入間川から田んぼに水が入る途中にビオトープ造成し、生きものの棲み家や市民の憩いの場を作っている。</li> <li>・生きもの観察会を通して環境調査・環境教育を行い、環境の大切さや水の浄化の大切さの普及を行った。</li> <li>・農家と非農家（消費者）が連携して、農薬や化学肥料を一切河川に流さない農法（米作り・マコモ栽培）を実践し、田んぼの環境価値の普及・啓発活動を行った。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>ビオトープ整備</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ビオトープの環境調査</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ビオトープの環境調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>川を汚さない農法勉強会</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入間川から水が入ってくる用水路には沢山のメダカやドジョウ、ナマズなどが遡上してくる。田んぼの上空には、エサ動物を狙って沢山のツバメが飛び交い、田んぼにはおびただしい数のカエルやクモが生息するようになった。</li> <li>・水の浄化をしてくれると言われるマコモ栽培にも力を入れている。2020年度から脳福連携の枠組みで障がい者施設でマコモ茶の製品づくりが始まった。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全型農業によるお米やマコモ製品の6次産業化により経済的自立を目指し、農業就農希望者を地域に呼び込むこと。</li> </ul>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で講演会やイベントを軒並み中止、または縮小せざるを得ない事態となり、これらに関する経費は申請額より少なくなった。</li> </ul>		
最終助成決定額	126,331円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑥

団体名	上尾の自然を守る教職員の会	実施日	2020年4月5日、9月27日、10月25日、 2021年1月9日
代表者	安孫子 繁子	活動場所	上尾市・川島町・川越市（入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープの自然環境を楽しむ会		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立以来、他団体と協力し、三ツ又沼地域の調査・自然保全活動を続けている。その中で若い親子が汚い、怖い等を理由に自然離れをしている現状に危惧を抱いてきた。楽しく自然に接する体験を親子で持ってもらいたいと思い、自然塾と名付けて活動。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を見るだけではなく、活用し、豊かな心を育むということも体験しながら、楽しく学べるようなイベントを実施した。</li> <li>・大人向けにも自然を楽しんでいただける活動を行なった。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>自然塾「土手で草つみ、草あそび」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自然塾「虫を知ろう」</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>七草の会</p> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子自然塾では若い親子が予想以上に参加してくれて、びっくりした。コロナ共生の時代、再び野外に関心が高まってきたことを感じた。そして活動の最後、子ども達から「また来たい！」と言ってもらい、目的がかなった。</li> <li>・新年早々の七草の会では大人もじっくり楽しめた。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり専門的にすると子ども達が飽きてしまう可能性もある。</li> </ul>		
最終助成決定額	115,000 円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑦

団体名	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	実施日	2019年5月24日、7月1日、9月27日、 2020年1月8日
代表者	木ノ内 勝平	活動場所	上尾市・川島町・川越市（入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープの自然環境管理作業		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒川周辺に残された自然を保全していく。保護と同時に、地域の在来野草を育て増やす活動にも力を入れる。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一昨年の台風 19 号による洪水のため、帰化植物が大量にビオトープ内に入り込み、在来野草群落を回復するための除草を重点的に行った。コロナ禍により一般参加者が著しく減少し、作業が難航した。大量のゴミ拾いや倒木等の片付も実施しているが、まだ終了しない。</li> <li>・ 培養土を会員に配り、各家庭で地域の在来野草を栽培してもらった。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外来種と在来種を見分けて作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>背丈を超える外来種の草刈り</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>希少種エリアのヨシ刈り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ノウルシが出る前の除草</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在来野草の種子から育てた苗の移植を実施したが、会員のみでは手が回らず、思うような結果が得られない。</li> <li>・ 倒木等の撤去など臨時の管理作業が未だに多く、チェーンソー及び刈払機による作業が大幅に増加、使用者は限られるため、会員はやや疲弊が見受けられる。しかし、従事者は保険のおかげで安心して作業できている。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者が増加するよう働きかけていきたい。</li> </ul>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍で一般参加者が激減し、会員のみでの管理作業が多くなったことで、予定より機械に頼ることとなり、燃料費が申請額より増えた。</li> </ul>		
最終助成決定額	155,613 円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑧

団体名	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	実施日	2020年4月30日、6月～9月末、 10月25日、11月30日、12月1日
代表者	鈴木 勝行	活動場所	川越市、狭山市、入間市、坂戸市、日高市、 飯能市、鶴ヶ島市、毛呂山町、ときがわ町、 嵐山町、東秩父村、川島町（入間川、赤間川、 高麗川、葛川、都幾川、槻川、瀬戸川、唐沢 川、谷川、一ト市川、雀川、田黒川、小畔川、 南小畔川、北小畔川、霞川、東大谷川、西大 谷川、飯盛川）
タイトル	入間川一斉水質調査及びマップ作成		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒川水系に清流を蘇らせることを目標に、まずは多くの方々に身近な河川に関心を持ってもらうため、当会設立から水質調査を行ってきた。水質調査の結果をマップ化して、荒川流域の環境団体、行政各機関、学校等に広く配布するとともにインターネット上で公開し、河川環境改善の啓発を行う。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COD, EC メーター及び説明書を実施団体に送付。新型コロナウイルス感染拡大下ではあったが、19団体、1大学、2人が状況を見ながら水質調査を実施した。</li> <li>・ 提出のあったデータについて集約・整理し、ソフトを活用してマップを作成。水質調査参加団体及び関連団体に早期にマップを配布するとともにホームページ、Facebookで公開した。水質調査結果のグラフを表示するアプリ（Ar-WQ）にも調査結果も表示した。アプリはPCでもスマホでも利用できる。 <a href="https://app.arakawa-ryuiki.net/wq/">https://app.arakawa-ryuiki.net/wq/</a></li> <li>・ 本年度は特にアユの遡上調査を実施している入間川水系の調査に重点をおいた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>又五郎水路における採水・測定</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>荒川流域一斉水質調査マップ</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加団体は、地域の河川の経年変化を把握し活動につなげている。「時系列グラフ付き水質調査マップ」の公開により、流域住民及び参加団体に貢献できた。</li> <li>・ マップ送付後に「次回から参加したい」との申し出があり、今後に期待したい。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川環境の実態を把握し水質や構造物改善に向けて手立てを検討していく。</li> <li>・ メンバーが取水地点に分散するので、各団体は調査地点での撮影に苦労していると思われる。</li> </ul>		
最終助成決定額	151,950 円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑨

団体名	狭山市立入間川小学校	実施日	2020年6月26日、7月3日、 2021年1月20日、2月下旬
代表者	新井 忠洋	活動場所	狭山市（入間川）
タイトル	2020 われら入間川探検隊！		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティースクールとして地域の協力や結びつきの強さを生かし、「総合的な学習の時間（ゆりの木学習）」を中心に、隣接する入間川で観察や体験学習を行い、地元の川や自然への愛着を育む。</li> </ul>		
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入間川の自然観察・・・河原の岩石を確認、形や大きさ、重さや見た目の違いなどの項目に分けて、石の種類を図鑑等で調べたりしながら特徴について整理した。</li> <li>2. 入間川の水質検査等・・・入間川の夏場と冬場の水質の違いを水質検査のキットを使用し調査した。水に含まれている有害物質を調べる中で、夏場よりも冬の方が、水質が悪い結果が見られた。</li> <li>3. 入間川に関する講演会・・・戸門秀雄氏を講師に迎え、入間川の歴史や川漁師の暮らし、そして自然環境等についてお話しいただいた。実物の漁で使用する道具やスライドなどの映像使用も使い、入間川への理解が深まった。</li> <li>4. 学習発表会・・・1年間で学んだことをまとめ、伝えるための発表会を行った。今年度はDVDに記録し、保護者に広報した。</li> </ol>		
	 <p style="text-align: center;">岩石調査</p>	 <p style="text-align: center;">水質調査</p>	
	 <p style="text-align: center;">入間川の歴史・環境等についての講演会</p>	 <p style="text-align: center;">学習発表会</p>	
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちは、入間川周辺の自然環境の観察や調査、体験活動を通して、自然環境と向き合い、自分の課題を見つけ探究することができた。また、自分の考えや思いを相手に的確に伝えようとする態度や能力を高めることができた。</li> <li>・地域の指導者との触れ合いも制限される中、講演会を実施、当初、環境に関心の薄い子供たちに対しても熱心に語りかけ、入間川やその地域の自然について熱い思いを子供たちに伝えていた。子供たちは、学習を通してその思いを感じ取り、自分の故郷に誇りを持ち、豊かな環境の中に生活できる自分を見つめることができた。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部とのつながりが出来なかったため、協議してできることを取り組んでいきたい。</li> </ul>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、当初予定していた入間川でのカヌー体験や漁協指導による地引網体験等が未実施となったため、代わりに入間川の歴史・環境等についての講演会を実施した。</li> </ul>		
最終助成決定額	82,028 円		

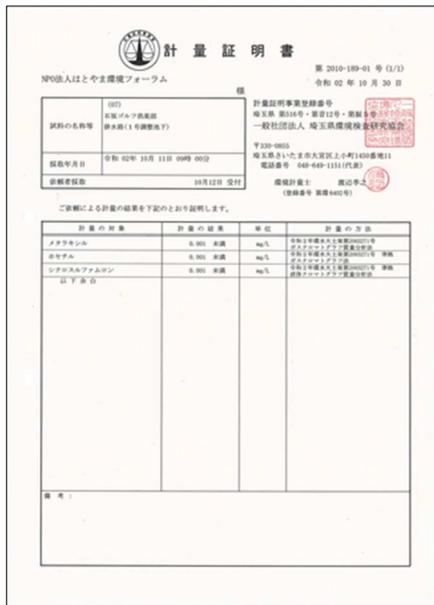
※活動完了報告書を元に作成

## 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑩

団体名	川島町立つばさ南小学校	実施日	2020年7月3日、10月19日、12月10日
代表者	新井 馨	活動場所	川島町(入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ)
タイトル	総合的な学習の時間「守ろう 川島の緑と水」		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生の総合的な学習の時間に、「守ろう 川島の緑と水」というテーマを設定し、本町の境に位置する三ツ又沼ビオトープを活動拠点として、荒川の自然を守り育てる大切さを学ぶこと。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来植物の駆除の体験や、本校で種から育てた植物の植え戻す活動を、日本生態系協会、荒川上流河川事務所、市民ボランティアのご指導のもと行った。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>荒川流域の「キンミズヒキ」の苗を学級園に植えて育て、種を採取し、その種から苗を育てた。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>埼玉県蝶である「ミドリシジミ」の卵の観察</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>コロナ禍で外部の関係者は招かず、学校関係者のみで活動発表会を行った。</p> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は、活動制限を伴った6月からの活動であったが、荒川流域の草花であるキンミズヒキの苗を植え種を採取したり、三ツ又沼の自然を観察したり（本年度は1回）、環境保全に関する知識・理解を深めたりすることができた。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の課題でもあったが、コロナ禍においては実施できなかったフィールドワークの実施時期を検討していきたい。</li> <li>・本年度は活動発表会を学校内で行ったが、感染防止の視点を踏まえながら、途中経過等の取組を保護者・地域へより発信していくことも大切にしていきたい。</li> </ul>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止対策のため、4～5月が休校、6月からの活動も制限を伴うものとなった。そのため、限られた時間と活動の中での貴重な体験を記録に留め、共有し合うことを主眼として取り組んだ。</li> </ul>		
最終助成決定額	63,000円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2020年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑪

団体名	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム	実施日	2020年10月11日
代表者	愛場 謙嗣	活動場所	鳩山町（唐沢川）
タイトル	鳩山町における自然環境調査保全活動		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳩山町の北東部は県立丘陵自然公園区域にあるなど自然豊かな山村部にあるが、公園内に大規模集合住宅（鳩山ニュータウン）が造成され、町内に4つのゴルフ場ができるなど、相次ぐ開発により自然・生活環境が大きく変化してきている。そうした自然・生活環境の変化を多面的に継続監視（モニタリング）することを通して、多様な生態系の再生とより安全な暮らしの確保に向けての基礎データを蓄積する。また、様々な環境保全活動の体験学習・講演会などを通してそれらの意義への理解を深めてもらう。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報公開で得たゴルフ場での農薬散布計画書に基づき、今年度も昨年度と同様、採水直前に散布されたメタラキシル、ホセチル、シクロスルフアムロンの3成分の残留分析をおこなった。3つの分析対象農薬成分は発がん性の疑いの濃いもの、および今年度に散布量が多かったものから選んだ。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>残留農薬計量証明書</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「エコフェスタ比企」会場で 環境調査結果を広報</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>いずれも検出限界以下の「0.001mg/リットル未満」だった。今回は一括分析できる25検体について有効数字の認められる流出はなかった。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓄積データを基に、散布農薬量・種類の経年変化は把握できたが、散布計画と散布実績との比較、使用量削減傾向の有無の確認を行い、行政への改善提言をまとめる。</li> </ul>		
最終助成決定額	79,500円		

※活動完了報告書を元に作成